

設問三	設問二	設問一
<p>あにて用取る自 る利吸すり個然 か用収る出性か らすし様しをら 。るたはた剥場 様栄、工奪所 と養食ネしや 同を品ル、歴 じ生をギ分史 構命消―解に 図維化をしお で持し利てけ</p>	<p>らえ値のる与の近 。るを価とえに代 こ与値さるは科 とえをれの価学 にた讚ては値で な人えい人がは つ間るる間な、 てのとたのく自 し精、め精、然 ま神そ、神価そ うをの自で値の か讚価然あをも</p>	<p>盤し人覚粒い自 とて間し子物然 な捉の意の理の るえ精味集法す 世る神や合則べ 界、の価とにてを 観近二値、従を 。代つがそ、 科に与れだ価 学切えらけ値 のりらをのの 基離る知微な</p>
設問五	設問四 別解	設問四
<p>原生のギしの則性しに人 因態考―て集にをて影間 で系えを取合従持築響を あが方利り体うつきを る破こそ用出と無自上及む と壊そすしみ個性をたし植 いさがるたな性をたし植 うれ、近工しな、豊合物 こて地代ネ、微物かいが とい球科ル分粒理な循相 。るの学 解子法個環互</p>	<p>れ除をのしに個近 づさ持下て従性代 られつでいうを社 い、マはるだ捨会 とニイ生たけ象で い―ノきめのさは うズリづ、個れ、 こがテらそ人たあ と応イいのを、ら 。えは個想想規ゆ ら排性定定則る</p>	<p>にさながしに個近 発れ個、て従性代 生る性現制うを社 しまを実度だ捨会 てイ持に設け象で しノつは計のさは まりた人さ個れ、 うテめ間れ人たあ こイ、はてを、ら とが疎多いい想規 。常外様る定則る</p>